



令和8年10月19日
十日町市財政課

令和8年度十日町市優良工事表彰式を開催します

優良工事表彰は、建設工事における良質な施工の確保と受注者の技術力の向上を図ることを目的として、平成27年度より実施しています。

今回は、令和7年度に完了した工事のうち、施工成績が特に優良な工事を表彰します。選考対象となった37件の工事から、羽鳥建設株式会社、新栄工業株式会社の2事業者が施工した工事が選定されました。

表彰式の開催日時等は、下記のとおりです。

記

1 日 時 令和8年11月6日（金）午後2時～

2 会 場 市役所防災庁舎 大会議室

3 次 第

（1）市長挨拶

（2）来賓祝辞 新潟県建設業協会十日町支部長 高橋 伸幸 様

（3）表彰工事の概要説明

（4）表彰状の授与

（5）受賞者謝辞

羽鳥建設株式会社 代表取締役 西野 正光 様

新栄工業株式会社 代表取締役 佐藤 松江 様

（6）記念撮影

4 添付資料 令和8年度十日町市優良工事表彰事業者

■お問合せ先

十日町市財政課 契約検査係

担当：岩田 ☎025-757-3114（直通）

令和 8 年度十日町市優良工事表彰事業者

【選定対象工事及び選定方法】

前年度の完了工事（請負額が 500 万円を超え、成績評定点が 80 点以上の工事 37 件）の中から、優良工事選定委員会（委員長：建設部長）の審査を経て、以下の事業者を選定したもの。

(1)	工事番号・工事名	6 災第60号 市道岩瀬下山線災害復旧工事
	事業者	羽鳥建設(株) 代表取締役 西野 正光
		現場代理人 平野 幹夫 主任技術者 平野 幹夫
	工事概要	復旧延長42.4m 道路幅員2.5(3.0)m 掘削工3,740m ³ 植生基材吹付工740m ²
	主な表彰理由	本工事は、令和6年能登半島地震により路肩が被災した道路の復旧工事である。 掘削工においては、側方にスロープ状の搬入路を設け、段階的に切土を行う施工計画とした。これにより、重機作業の安全性を確保するとともに、土砂搬出作業の効率化を図ることができ、無事故で工期内に工事を完成させることができた。 出来形管理においては、ICT技術を積極的に導入し、UAVレーザー測量を活用した出来形管理を実施した。これにより、作業員が危険箇所へ立ち入ることなく安全性を確保するとともに、精度の高い出来形管理を実現するなど、他の模範となる工事である。
(2)	工事番号・工事名	企建第 4 号 十日町第 2 配水系基幹送配水管耐震化（第 1 工区）工事
	事業者	新栄工業(株) 代表取締役 佐藤 松江
		現場代理人 村山 慎典 主任技術者 俵山 悟
	工事概要	送水管：ダクタイル鋳鉄管（Φ250）420.9m 配水管：ダクタイル鋳鉄管（Φ150～Φ400）453.2m
	主な表彰理由	本工事は、配水池直下の重要系統を担う送配水管の布設替えであり、市内最大口径の配水管を含む、極めて難易度の高い案件である。 管理面では、関連工事や地元との調整を主導し、不測の埋設物にも迅速に対応することで、複雑な工程を遅滞なく管理したマネジメント能力は高く評価される。 また、技術面においても、NETIS登録技術（クイック土留）の提案・導入により安全性と効率化を両立するなど、他の模範となる工事である。

6災第60号 市道岩瀬下山線災害復旧工事



着手前



竣工

6災第60号 市道岩瀬下山線災害復旧工事



着手前



竣工

6災第60号 市道岩瀬下山線災害復旧工事



着手前



竣工

6災第60号 市道岩瀬下山線災害復旧工事



着手前



竣工

創意工夫

最大切土高さ $H=25.8\text{m}$ の急峻な山腹における切土工事であることから、側方にスロープ状の搬入路を設け、十分な作業幅と土砂搬出路を確保しながら、段階的に切土を行う施工計画とした。これにより、重機作業の安全性を確保するとともに、土砂搬出作業の効率化を図ることができ、無事故で工期内に工事を完成させることができた。



段階的な切り崩し



段階的な切り崩し



作業幅を確保



確保した作業幅上で切土



切土完了

創意工夫

出来形管理においては、高所かつ急峻な斜面での人力による測量は、転落等の危険を伴う作業となることから、ICT技術を積極的に導入する社内方針に基づき、UAVレーザー測量を活用した出来形管理を実施した。これにより、作業員が危険箇所へ立ち入ることなく安全性を確保するとともに、急カーブを含む斜面区間において管理測点数を増やし、切土面全体を面的に把握・記録することで、精度の高い出来形管理を実現した。その結果、仕上がりの良い切土のり面となっている。



着手完了写真(代表箇所)



施工状況

支障物や既設管・仮設管への接続もあり複雑な配管箇所も多くあった



施工状況

市内最大口径φ400mmの配水管を布設



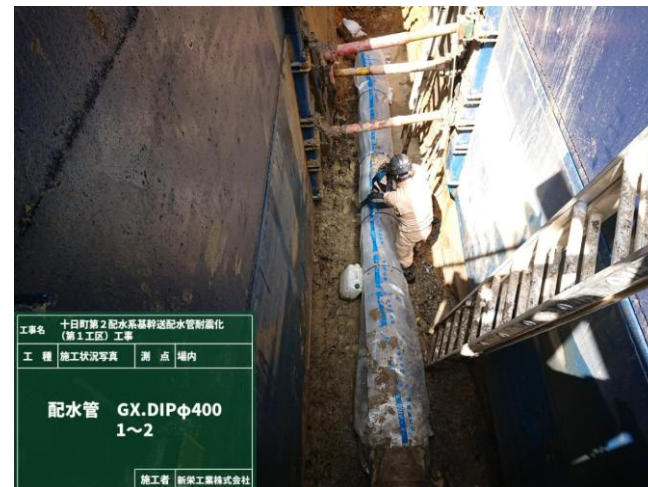
施工状況

試掘に基づき柔軟に配管計画を見直す



創意工夫

スイングサポート仕様の土留を提案・使用したことにより、 $\phi 400\text{mm}$ の長さ6mの配水管布設も安全性と効率化を両立



創意工夫

市の試行(水道用識別マーカー)の施工協力



施工状況

既設管の撤去状況

